

## A・F・ボードインの生年月日についての考察

石田 純 郎

一八六二年に長崎へ来日し、長崎精得館、大阪医学校、大学東校の教師をつとめ、日本の近代医学に多大の貢献を残し、一八七〇年（明治三年）日本を去った、アントニウス・フランシスカス・ボードインの生年月日は、従来一八二二年六月二〇日と信じられていた。

ボードインの生年月日は、石橋、小川らの著書<sup>(1)</sup>、中西の著書<sup>(2)</sup>、中野の著書<sup>(3)</sup>をはじめ、手元にある日本の成書で、生年月日を言及してあるものの大部分に、一八二二年と書いてある。（尚、没年月日は一八八五年六月七日）

一方コンサイス人名辞典<sup>(4)</sup>には、生年一八二九年、没年一八九〇年と全く別の年月日が記されている。

小生は一九七九年秋オランダ・ドルドレヒト市の戸籍役場を訪れ、A・F・ボードインの戸籍を確認する機会を得た。

表一、ボードイン戸籍（オランダ語）

表二、同右（日本語訳）

彼の戸籍より生年月日は一八二〇年であると確認された。

この誤りの原因は、オランダ最大の人名辞典である「新オランダ人名辞典<sup>(5)</sup>」に、一八二二年生まれと記載されていたためと考えられた。しかしながら、同辞典<sup>(6)</sup>で、彼の弟、アルベルト・ヨハネス・ボードインの項をみると、兄A・F・ボードインの生年月日は一八二〇年と明記してあり、したがって単なる誤植ではなからうかと考えた。

表 1 ボードイン戸籍 (オランダ語)

In het Jaar Honderd Twintig den Eenentwintigste Junij des Morgens tien Uuren is voor ons Openbaar Ambtenaar van den burgerlijken Stand der Stad Dordrecht Provincie Zuid Holland verschenen Franciscus Dominicus Andreas Bauduin koopman wonende binnen deze Stad welke ons een kind van het manlijk Geslacht heeft voorgesteld geboren den twintigste Junij Agtien Honderd Twintig des Morgens, vijf Uuren van hem declarant en van zijne huisvrouw Maria Jacoba Masjon en aan het welk hij verklaard de Voorstelling is geschied in tegenwoordigheid van Willem Fredrik Steiner oud veertig Jaren Kledermaker en Willem van Cys oud eenentwintig Jaren Kantoorbediende Wonende alhier en hebben de Vader en de Getuigen deze acte na gedene voorlezing nevens ons ondertekend.

F.D.A. Bauduin

W.F. Steiner

W. van Cys

Hugo Gevers

表 2 ボードインの戸籍 (日本語訳)

一八二〇年六月二一日午前十時、この町に住む商人である、フランシスカス、ドミニカス、アンドレアス、ボードインは、ドルドレヒト戸籍役場の職員である我々の所へ来て、一八二〇年六月二〇日午前五時、彼の妻、マリア、ヤユバ、マシヨンが、男児を出生し、その子にアントニウス、フランシスカスというクリスチャンネームを名付けたと届出た。この町に住む、四〇歳の洋服屋ウイリアム・フレドリク・スタイナーと、二一歳の書記、ウイリアム・バン・シスの立会いの下、この届出は受理された。この文面を読んだ後、父親と証人はこの書類に署名した。

F・D・A・ボードイン

W・F・スタイナー

W・バン・シス

ヒューゴ  
ゲバーズ

一方コンサイス人名辞典の根拠となった文献は、ハルベルツマのものではないかと考えられた。ハルベルツマも同じ誤りをしていたからである。この一八二九〜一八九〇の生年、没年は、新オランダ人名辞典によれば、A・F・ポードインの弟、アルベルト・ヨハネス・ポードインのそれと全く一致し、兄弟のとりまちがえからのミスと推定した。

A・F・ポードインの生年月日が、従来信じられてきた年と違うことを指摘した。

おわりにオランダ語の解説をしていたライデン大学ボイケル氏に感謝する。なお、この論文の要旨は、一九八〇年の第八十一回日本医史学会総会にて発表した。

三菱水島病院小児科

#### 引用文献

- (1) 石橋長英 小川鼎三 お雇い外国人⑨医学 六四頁 一九六九 鹿島出版会
- (2) 中西 啓 長崎のオランダ医たち 二一二頁 一九七五 岩波書店
- (3) 中野 操 大坂蘭学史話 二二三頁 一九七九 思文閣出版
- (4) コンサイス人名辞典 日本編 一二七九頁 一九七六 三省堂
- (5) Nieuw Nederlandsch Biografisch Woordenboek 五九頁 一九三〇
- (6) Nieuw Nederlandsch Biografisch Woordenboek 二五一頁 一九三〇
- (7) Halbertsma, K.T.A. Bijdragen tot de Geschiedenis der Geneeskunde 二二卷 一〇六頁 一九四二

# The Date of Birth of Dr. Antonius Franciscus Bauduin

by

Sumio ISHIDA

Antonius Franciscus Bauduin, who came to Japan in 1862, worked as a teacher at Nagasaki Seitokukan Medical College, Osaka Medical College and Daigakutoko. His date of birth was believed to be 20 June 1822.

I found his register at Dordrecht in 1979. I confirmed that his date of birth was actually 20 June 1820 from this register. The reason why this mistake was made may be due to the article in the *Nieuw Nederlandsch Biografisch Woordenboek* (1930) which (*New Dutch biographical dictionary*) gives his date of birth as 20 June 1822.